

提言第10号 大腸内視鏡検査等の前処置に係る死亡事例の分析

事例1

< 事例概要 >

- ・ 80 歳代。
- ・ 1 日に数回の下痢があり、S 状結腸の腫瘍性病変の疑いで大腸内視鏡検査が予定された。
- ・ 検査前日、自宅でマグコロール125 mL、ピコスルファートナトリウム20 mL を服用した。約 5 時間後に腹痛あり、腸閉塞と診断されて入院となった。造影CT 検査で大腸 の拡張が認められた。血圧、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）が低下し、緊急 大腸内視鏡下で消化管ステント留置中にショック状態となり、翌日死亡した。
- ・ 死因は、腸閉塞に伴う敗血症性ショック。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖無。